

富 2024年(令和6年)4月8日(月曜日)

交流試合で熱戦を繰り広げるセブン能登(白)とJOGANJI富山の選手  
—舟橋村の高平メモリアル常願寺スポーツパーク



# 七尾のチーム招き サッカー交流試合

## 舟橋・常願寺スポーツクラブ

サッカークラブ「JOGANJI富山」(舟橋村)とセブン能登(七尾市)の交流試合は7日、同村の高平メモリアル常願寺スポーツパークで行われ、両チームのU13(13歳以下)の選手が試合を通じて絆を深めた。石川の強豪であるセブン能登は能登半島地震で練習場所の確保に苦しんでおり、JOGANJI富山は今後も支援を続ける。

富山を運営する常願寺川公園スポーツクラブが、合宿などで縁のあったセブン能登の苦境を知り、交流試合を企画した。セブン能登の拠点である七尾市の和倉温泉運動公園多目的グラウンドと能登島グラウンドは地震でひび割れなど大きな被害を受けて使用できない状態が続いている。

交流試合は25分のゲーム

## 練習拠点被災のセブン能登

を5回行った。冒頭、渡辺光村長、村スポーツ協会の前原英石会長、JOGANJI富山の選手が激励を込めてあいさつし、地元産米5キロとまずしをセブン能登の選手全員に手渡した。セブン能登の指導者陣はサポートに感謝し、七尾中1年の干場拓夢さんは「久しぶりに、良いグラウンドでプレーできた。またここで練習したい」と話した。

支え合って  
ともに  
1.1大震災